

町消防出初式

機敏な規律訓練も披露

一月五日（土）恒例の消防出初式が鶴田中学校グラウンドで開催され、各分団員総勢百六名が参加しました。

この日は天候にも恵まれ、各団員による分列行進や規律訓練、ポンプ操法、放水訓練などが行われました。規律訓練は神子分団と役場分団により行われ、キビキビとした行動に参加者も見入っていました。

また、恒例となった旭保育園幼年消防クラブの規律訓練では、下



ポンプ操法を披露する各分団員

に合わせて行われ、参加者からも盛んな拍手が贈られました。その後、山内翔くんと平松理沙ちゃんが、僕たちは、火遊びをしません。と、誓いの言葉を大きな声で発表しました。

式の最後には永年勤続賞など、永年消防団員として活躍された功労者の表彰も行われました。表彰者は次のとおりです。（敬称略）

日本消防協会の部

日本消防協会勤続章

柳田信孝

鹿児島県消防協会の部

鹿児島県勤続章（30年以上）

柳田信孝

鹿児島県功績章（20年以上）

栗野明男

鹿児島県精績章（20年以上）

栗野明男

鹿児島県精績章（15年以上）

萩木場映生 栗牧伸一

薩摩支部の部

永年勤続表彰（25年以上）

丸尾省吾 栗野則幸

永年勤続表彰（15年以上）

神野眞 高嶺康貴 岩崎光義

鶴田町長の部



旭保育園園児の元気な誓いの言葉

勤続章（10年以上）

上牧瀬政雄 宮之脇茂樹 塩鶴

政秋 赤木満 外園忠久 栗野

菊男 角平二 城下貞吉 下屋

敷一人 西田公美 坂元龍司

退団者感謝状

下大迫市雄 宮之脇四郎 栗野

明男 川口憲男 内村久生 萩

木場一水 幸澤一男 舟倉栄二

橋元健二

消防協力者感謝状

菱刈町 脇迫勉 脇迫六雄

平成十三年九月十九日に発生し

た宮之城町平川境の柏原地区内の

山火事において、いち早く現場に

駆けつけ適切な消火により延焼

を食い止められた。

鶴田新ごぼう初出荷 契約相対取引で価格の安定化を図る



出発式では関係者によるテープカットが行われました

一月十三日（日）、柏原で鶴田新ごぼうの初収穫が行われました。この日は、雨が降る天候でしたが、ごぼう生産者が共同作業で掘り取りをしました。

十五日（火）には柏原の野菜集荷場で出荷式が行われ、小雨がぱらつく中、約五十人の関係者が参加しました。式では、綾園武満ごぼう部会長が「技術も年々向上し、いい新ごぼうができています。今後も体に気をつけてがんばりましょう。」とあいさつをされました。その後、関係者によりテープカットが行われ、初出荷の五百キログラムを乗せた輸送車を見送りました。

十六日には、福岡の市場で初セリが行われ、一キ。当たり千五百五十



ごぼうの収穫は大型機械を使い生産者の共同作業で行います



初セリでは多くの仲買人が新ゴボウの周りを取り囲みました

円の高値で取り引きされました。二月中旬の最盛期には一日三トンが出荷され、四月上旬まで続けられます。また、今年から出荷価格、量、規格を先決めした、契約相対取引引きが実施され、取り引き価格の安定化が図られています。



歳時記

冷たさをもて滑らかに
酢牡蠣かな 松根東洋城

こんな句を読んだだけで、

生つばが出てきそうです。

英語のRのつく月がおいしい

とされる牡蠣ですが、なかで

も厳寒期の一、二月は旬。和

洋、中と、さまざまな料理

に合いますが、牡蠣のおい

しさを堪能できるのは、や

はり生食でしょう。生の魚

介類はあまり食べない欧米

でも、牡蠣だけは別格のよ

うです。

端正な殻をもつハマグリ

などと同じ二枚貝ですが、牡

蠣の外見はゴツゴツと不格好

で、これといって決まった形

をしていません。岩肌などに

はりついて動けないので、殻

のふたを開け、繊維を動かし

て海水を取り込み、その中の

プランクトンを食べます。

牡蠣の肉質の独特な柔らか

さも、運動をしないためだろ

うと言われています。また、

牡蠣は「海の牛乳」と言われ

牡蠣



るほど栄養価が高く、病人食としても使われています。

松島の 松に雪ふり

牡蠣育つ

現在、日本の牡蠣は、ほと

んどがマガキと呼ばれる養殖

もので、主な産地は広島、松

島湾、伊勢湾など。養殖の方

法に違いはありますが、波が

穏やかでえさとなるプランク

トンが豊富な場所というのが

共通しています。マガキ

は春になると、産卵に備

え生殖巣が発達するため

味が落ちてきます。

牡蠣は、産卵後しばらく

は海中を泳ぎ回って

ますが、やがて棒杭や岩

礁に付着し、そこに着い

たまま、一生を終えます。

春の全国火災予防運動

「たしかめて
火を消してから 次のこと」

三月一日から七日までの一週間、春の火災予防運動が全国一斉に展開されます。今年の重点目標は、

住宅防火対策の推進

放火火災予防の推進

消火器事故防止対策の推進

林野火災予防対策の推進

乾燥時及び強風時の火災発生防

止対策の推進

となっています。

二月からあぜ焼きなどが盛んに行われる時期になります。また、特に空気が乾燥しやすい時期でもあります。火の取扱には十分注意して火災予防に努めましょう。

